

【試合結果】

男子																	
日時	平成30年4月14日(土) 13:00 ~																
会場	千歳スポーツセンター																
結果	旭川愛宕 ● 道3位 48																
	豊野 ○ 埼玉 79																
<table border="0"> <tr> <td rowspan="5">}</td> <td>18</td> <td>—</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>—</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>—</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>—</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td></td> <td>OT</td> <td></td> </tr> </table>		}	18	—	17	13	—	25	11	—	18	6	—	19		OT	
}	18		—	17													
	13		—	25													
	11		—	18													
	6		—	19													
		OT															
審判	主審 松居 晋吾 副審 菊地 洋平																

第11回北海道カップ中学生バスケットボール大会



【ボックススコア】

旭川愛宕		道3位						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	萩生田 侑杜	×	8	1	2	1	3	0
5	松山 真之助	×	2	0	1	0	1	0
6	鹿原 拓夢	×	8	0	3	2	2	1
7	白田 翔悟	×	6	0	3	0	0	0
8	水野 神羽	/	0	0	0	0	1	0
9	坂本 瑞樹	×	19	3	4	2	5	0
10	多田 款	/	0	0	0	0	0	0
11	森田 耕陽	/	5	1	1	0	0	0
12	小玉 風歌	/	0	0	0	0	1	0
13	上西 陸斗	DNP						
14	高 麗和	DNP						
15	山下 竜輝	DNP						
16	榎本 麗琉	DNP						
17	井上 寛太	DNP						
18	森山 亮	DNP						
HC	堀口 創平							
合計			48	5	14	5	13	1

豊野		埼玉						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	岸本 拓也	×	1	0	0	1	0	0
5	関根 裕貴	×	29	1	10	6	4	0
6	八巻 賢人	DNP						
7	辻崎 柊生	DNP						
8	小木 幹瑛	DNP						
9	大久保 龍之介	×	12	0	6	0	0	0
10	柏木 健吾	×	7	0	3	1	1	0
11	須藤 祐汰	DNP						
12	古橋 帆皐	/	0	0	0	0	0	0
13	高橋 和秀	/	0	0	0	0	0	0
14		DNP						
15		DNP						
16		DNP						
17		DNP						
18	小林 海人	×	30		13	4	27	
HC	田中 英夫							
合計			79	1	32	12	32	0

出場 ×:スターター /:途中出場 DNP:出場なし
 得点 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー

【戦評】

1Q:旭川愛宕#4、5、6、7、9。豊野#4、5、9、10、18でスタート。豊野#18のオフェンスリバウンドから先制。愛宕も#9のスリーで応戦し、一進一退の攻防が続く。愛宕は#4の3Pなどで点差を広げにかかるが、豊野の積極的なドライブや#18のリバウンドを相手にファウルも重なってしまう。豊野はバスケットカウントやフリースローでじわじわと点差を縮め、18-17と愛宕1点リードで第1ピリオド終了。
 2Q:開始早々愛宕のターンオーバーから豊野が速攻を決め逆転するも、愛宕は#11の3Pでやり返し、以降シーソーゲームが続く。愛宕はディフェンスのプレッシャーを強め状況を打開しようと試みるが、豊野#5のドライブやジャンプショット、#18のリバウンドで少しずつ流れが豊野に傾き始める。残り3分27秒、27-34と点差が7点になったところで愛宕がタイムアウト。しかし愛宕はタイムアウト明けにもターンオーバーから失点してしまい29-38となり、残り2分で再びタイムアウト。それでも#18の安定したリバウンドと#5の力強いドライブに打開策を見出せず、31-42豊野11点リードで前半終了。
 3Q:開始から豊野は#9のドライブ、#5から#18への合わせで連続得点し主導権を握る。愛宕は#6のインサイドと思い切りのいい3Pで反撃するも、なかなか流れを引き込めない。オフェンスでもディフェンスでも随所で豊野#18のリバウンドが光る。42-60で第3ピリオド終了。
 4Q:最終ピリオドも豊野#5と#18が躍動。リバウンドを支配し、完全に流れに乗った豊野が伸び伸びプレーし始める。終わってみれば#5が29得点、#18が27リバウンド30得点と圧倒的な数字を残し、48-79で豊野が快勝した。